

テーマ:37. 危機に強い地域に

未来シナリオ:行政の機能を分散化し、災害などが起こったときに行政がストップしないようにする。

未来シナリオを達成するための提案

➤ 行政の機能の分散化

- ◆ 市町村を地域ごとに細分化する → 選挙の時の選挙会場の区分を参考にする
- ◆ 地域ごとに行政手続き用の窓口を設置する → 窓口には銀行のATMのようなものを設置する
窓口はビルのテナントに入ったり、空き家を利用する

利
点

- 窓口での手続きは基本的にATMのような機械を用いて行い、わからないことがあれば遠隔でサポートするようにするため、スタッフを常時配置する必要がない
- スタッフを常時配置する必要がないため、必要な人材も少なく、人件費も抑えられる
- ビルのテナントを利用することで、新しい窓口用の建物を準備する必要がない
- 空き家を利用することで、空き屋を少しでも軽減できる

➤ 行政の機能のデジタル化

- ◆ 実印ではなく自筆の署名をデバイス上にするように変更する → デジタルで全て完結する
- ◆ 手続きにはIDとPWを使用する → 家のパソコンやスマホからも手続きが可能になる
PWを二重にしたり、ワンタイムパスワードを用いることにより情報漏洩を防ぐ

➤ 行政の機能の効率化

- ◆ 手続きは自分の地域外の窓口でも行えようにする
→将来は5G以上のデータ通信の速さを実現する技術が開発されている可能性が高いので、
窓口間のデータの送受信は比較的スムーズにできるだろう
- ◆ IDにマイナンバーを用いる → 国、都道府県、市町村全ての行政手続きを上記のようにできるようにする

利
点

- 《行政側》
 - 国、都道府県、市町村がお互いに情報をやり取りするのが容易になる
 - 手続きが容易になることにより住民側からの手続きの不備などが減り、業務の負担が少なくなる
- 《住民側》
 - 国、都道府県、市町村全ての行政手続きが同じ方法でできるようになると、負担が減る
 - コロナ禍での給付金のようにすぐに行政に申請をしたいときに容易に手続きできるようになる